

在宅療養・ACP 講座の実施報告について

1 主旨

在宅療養・ACP の普及啓発を図ることを目的とし、区民及び医療・介護関係者を対象に、「在宅療養・ACP 講座」を実施したので報告する。

2 実施内容

(1) 在宅療養・ACP 講座（区民向け）

「わたらしい生き方、暮らし方を考える ～人生 100 年に向けて～」

日時：令和 6 年 1 1 月 3 0 日（土）午後 2 時から 4 時まで

会場：保健医療福祉総合プラザ

内容：【第 1 部】基調講演

講師：五味一英氏（桜新町アーバンクリニック在宅医療部 在宅診療部長）

尾山直子氏（桜新町ナースケア・ステーション訪問看護師）

あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）職員

【第 2 部】個人ワーク

【同時開催】学生による ACP 啓発ポスター展示

（出展：駒澤大学経営学部小野瀬ゼミナール）

参加者：31 人

(2) ACP 講座（医療・介護関係者向け）

「ガヤガヤ会議～世田谷で人生会議についてガヤガヤ話そう！～」

日時：令和 7 年 1 月 2 4 日（金）午後 7 時から 9 時まで

会場：保健医療福祉総合プラザ

【第 1 部】基調講演

講師：五味一英氏（桜新町アーバンクリニック在宅医療部 在宅診療部長）

【第 2 部】ワールドカフェ方式によるグループワーク・発表

参加者：65 人

あんしんすこやかセンター、医療機関、居宅介護支援、訪問看護、
特定施設入居者生活介護、その他

3 受講者アンケート結果

P2～P12 のとおり

在宅療養・ACP 講座（区民向け）受講者アンケート結果

1 概要

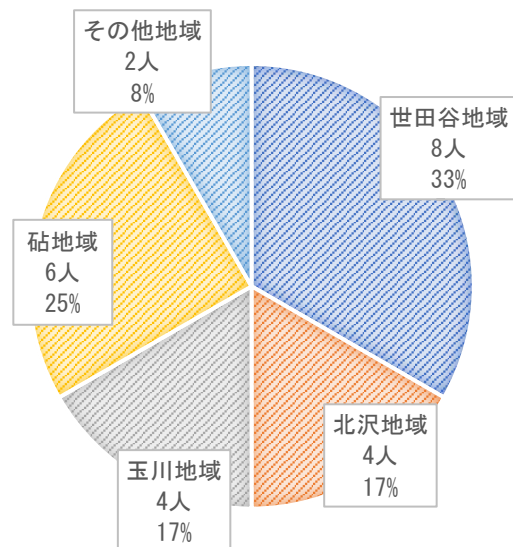
- ・日時／場所：令和6年11月30日（土）14時～16時 ／ 保健医療福祉総合プラザ1階研修室A
- ・参加人数：31人

2 事後アンケート

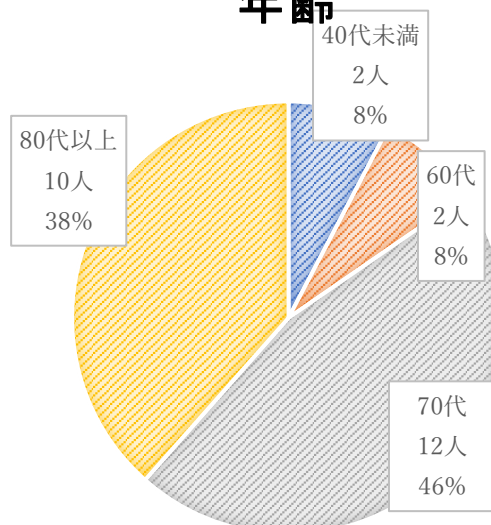
調査設定

- （1）対象者数：26人
- （2）調査方法：記入式アンケート
- （3）調査期間：令和6年11月30日（土）

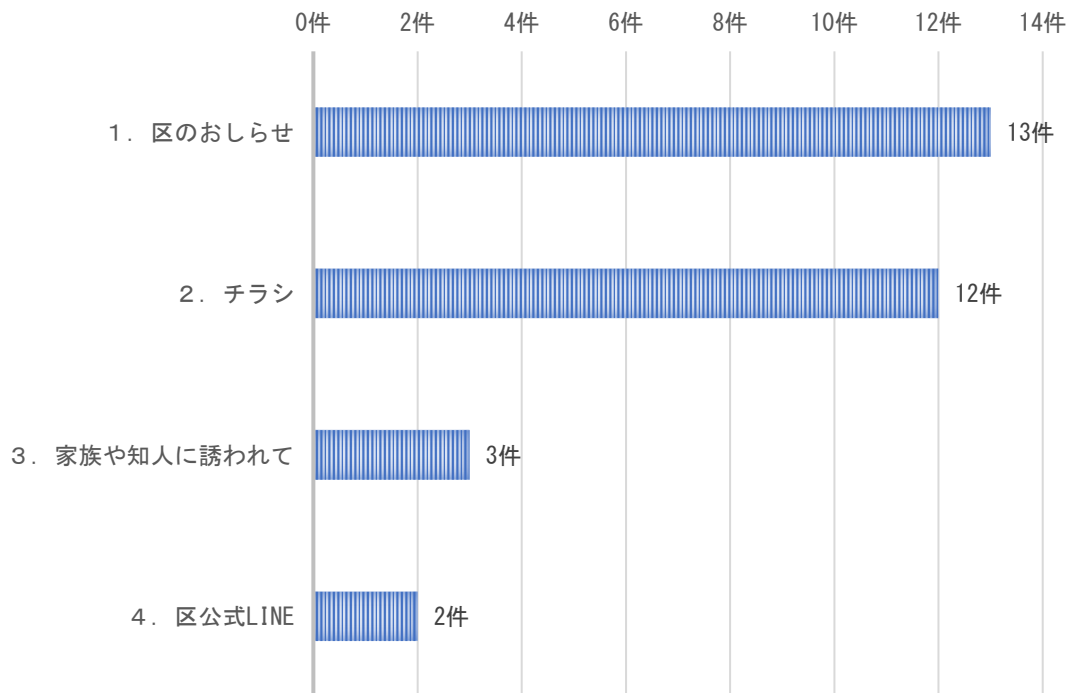
お住まいの地域



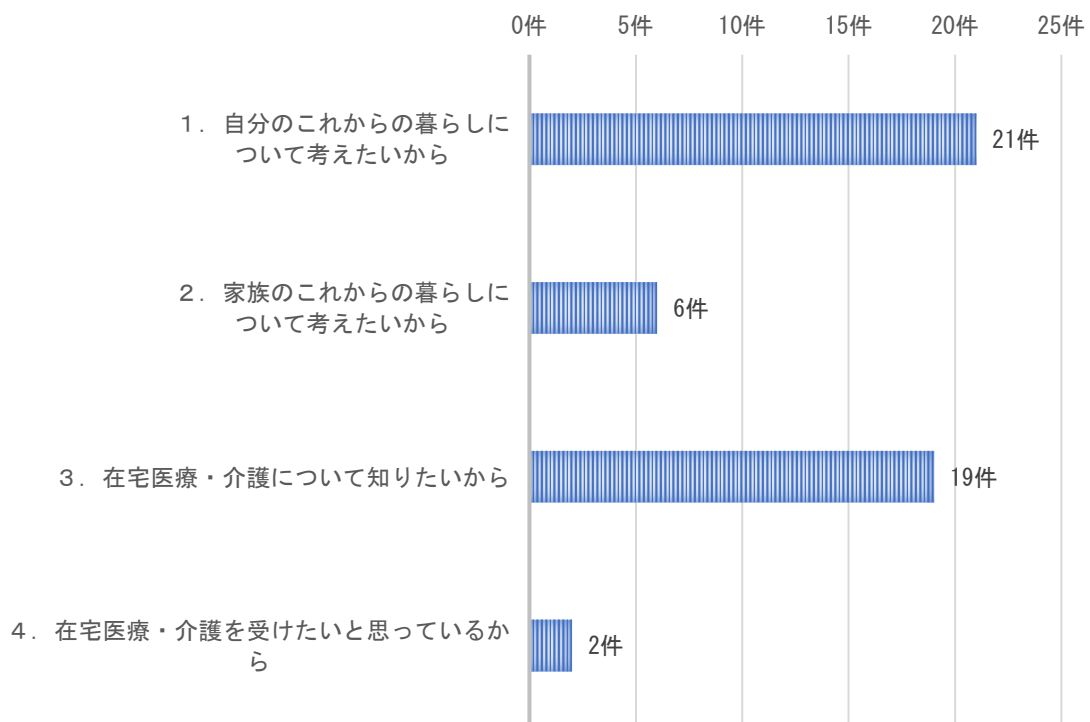
年齢



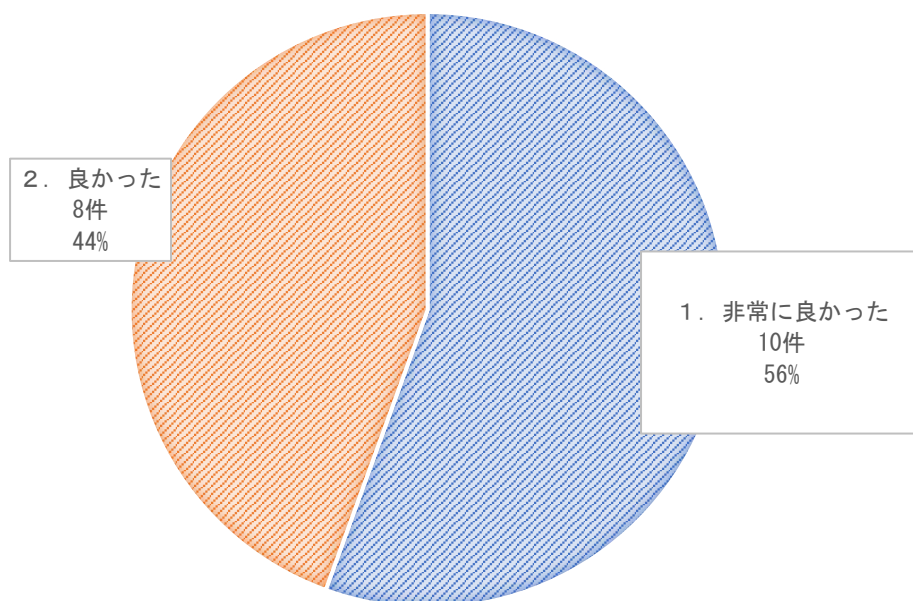
1. 本日の講座を何で知りましたか？ (複数回答可)



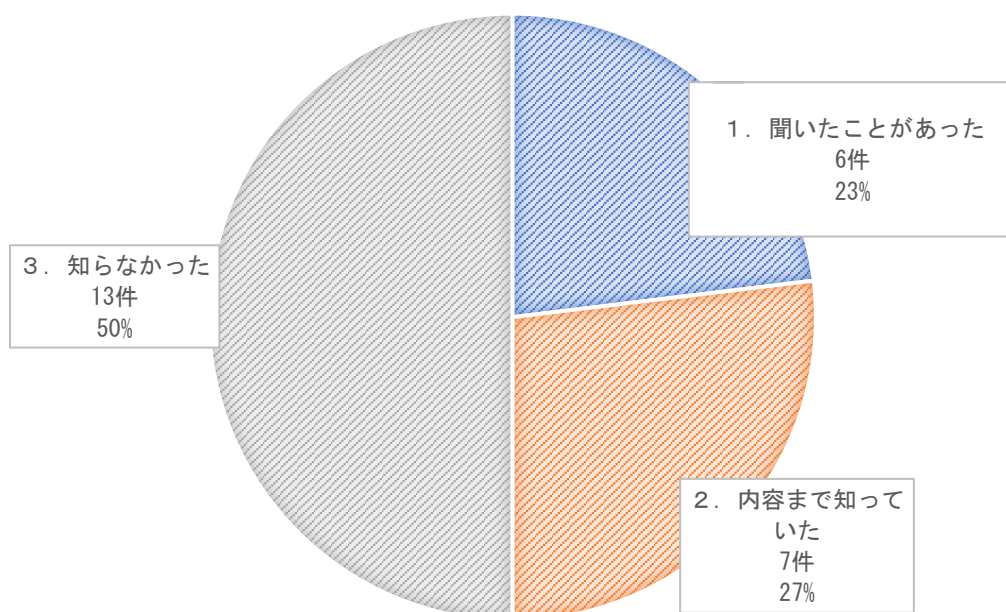
2. 本日の講座に参加した理由を教えてください (複数回答可)



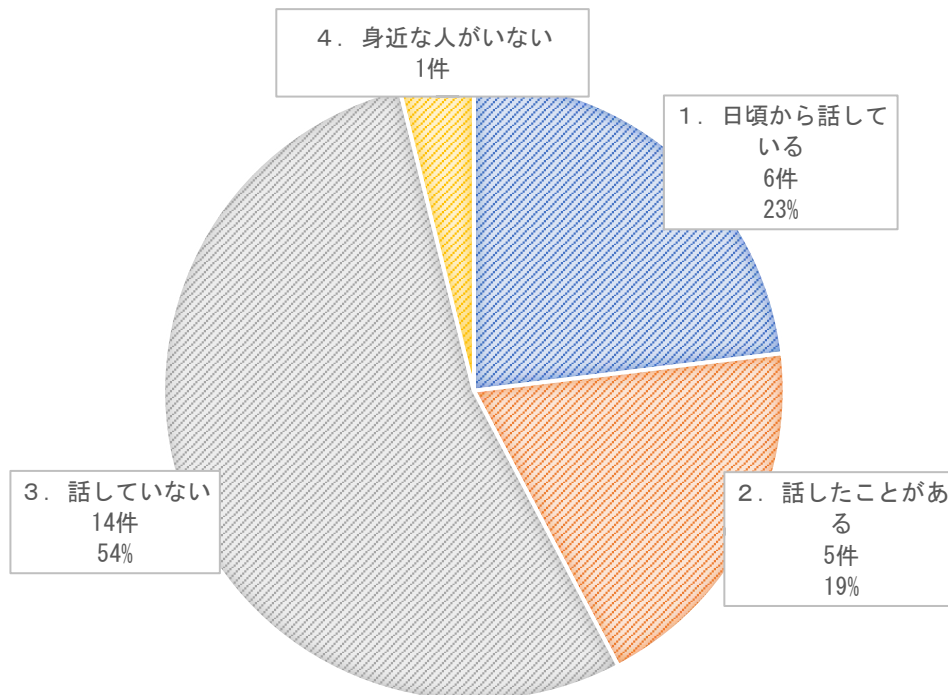
3. 本会全体の評価を 教えてください



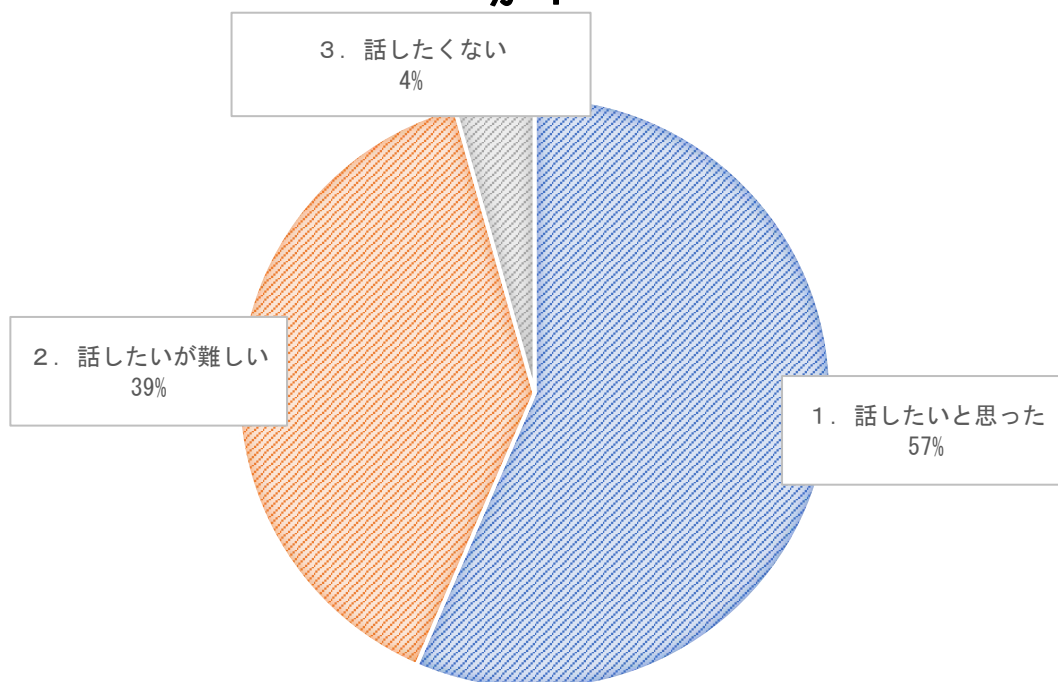
4. これまで人生会議・ACP (アドバンス・ケア・プランニング) という言葉をご存知でしたか？



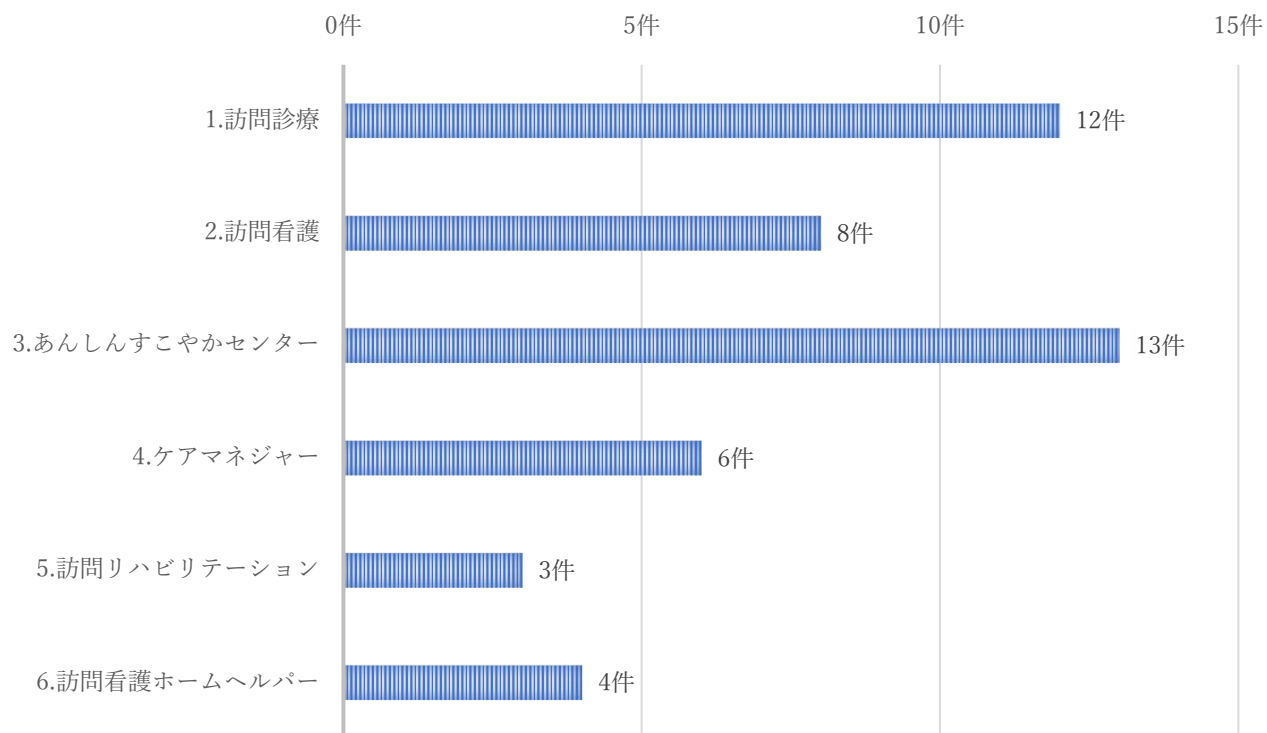
5. 自分が今大事にしていることや、これからについて身近な人と話していますか？



6. 自分が今大事にしていることや、これからについて身近な人と話したいと思いませんか？



7. 本日の講座で知ることができて良かったと思うサービス (複数回答可)



8. ACP のポスター（駒澤大学学生作）について感想がありましたら自由にお書きください

- ・若い方が作成して下さい素晴らしいです。
- ・ポスターにして目にふれることは、とても良いことだと思います。ACP の言葉を知らなかったのも、とても良かったです。自分自身を考えるきっかけです。
- ・あたたかく、気持ちが入っていく。
- ・今回の催物へのご協力ありがとうございました。大変勉強になりました。

9. その他、ご意見・質問等ありましたら自由にお書きください

- ・冊子「LIFE これからのこと」をいただけたことが、とてもうれしかったです。
- ・最期の意思決定の前に、今のところ何とか自立して生活していますが、人様の世話にならないと生活できなくなった時に、どこで生活するのか医療やサービスの選択肢の中から何を選ぶのが現在の課題です。

在宅療養・ACP 講座「ガヤガヤ会議」受講後アンケート結果

1 概要

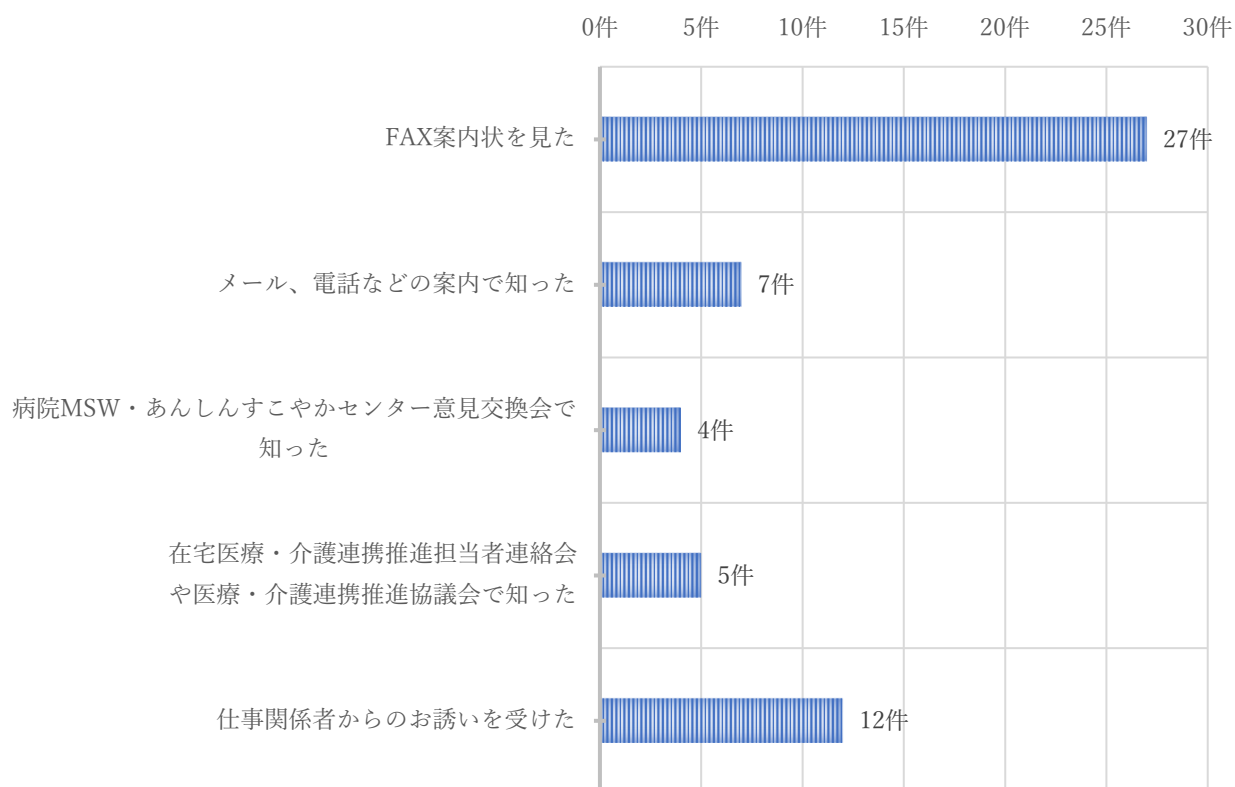
- ・日時／場所：令和7年1月24日（金）19時～21時／保健医療福祉総合プラザ1階研修室A
- ・参加人数：65人（ファシリテーター除く）

2 事後アンケート

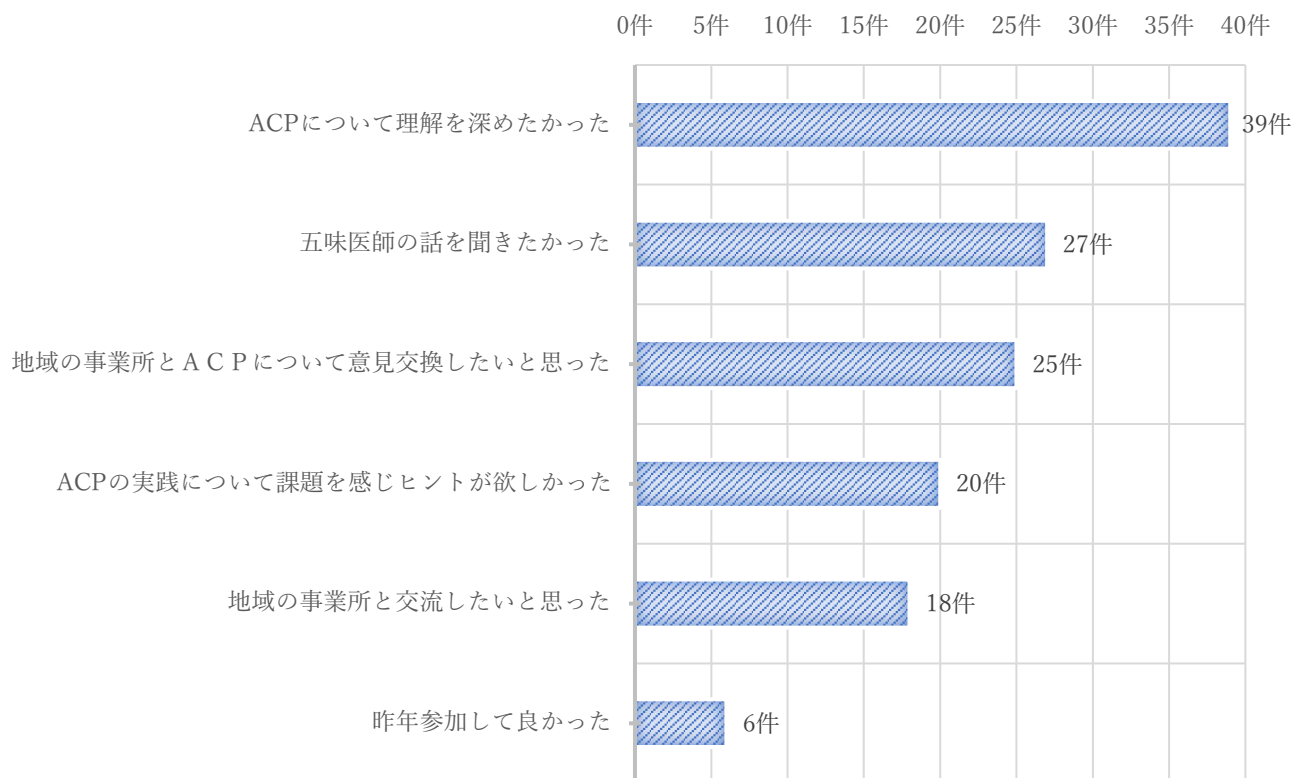
調査設定

- （1）対象者数：51人
- （2）調査方法：記入式及びオンラインでのアンケート
- （3）調査期間：令和7年1月24日（金）～1月31日（金）

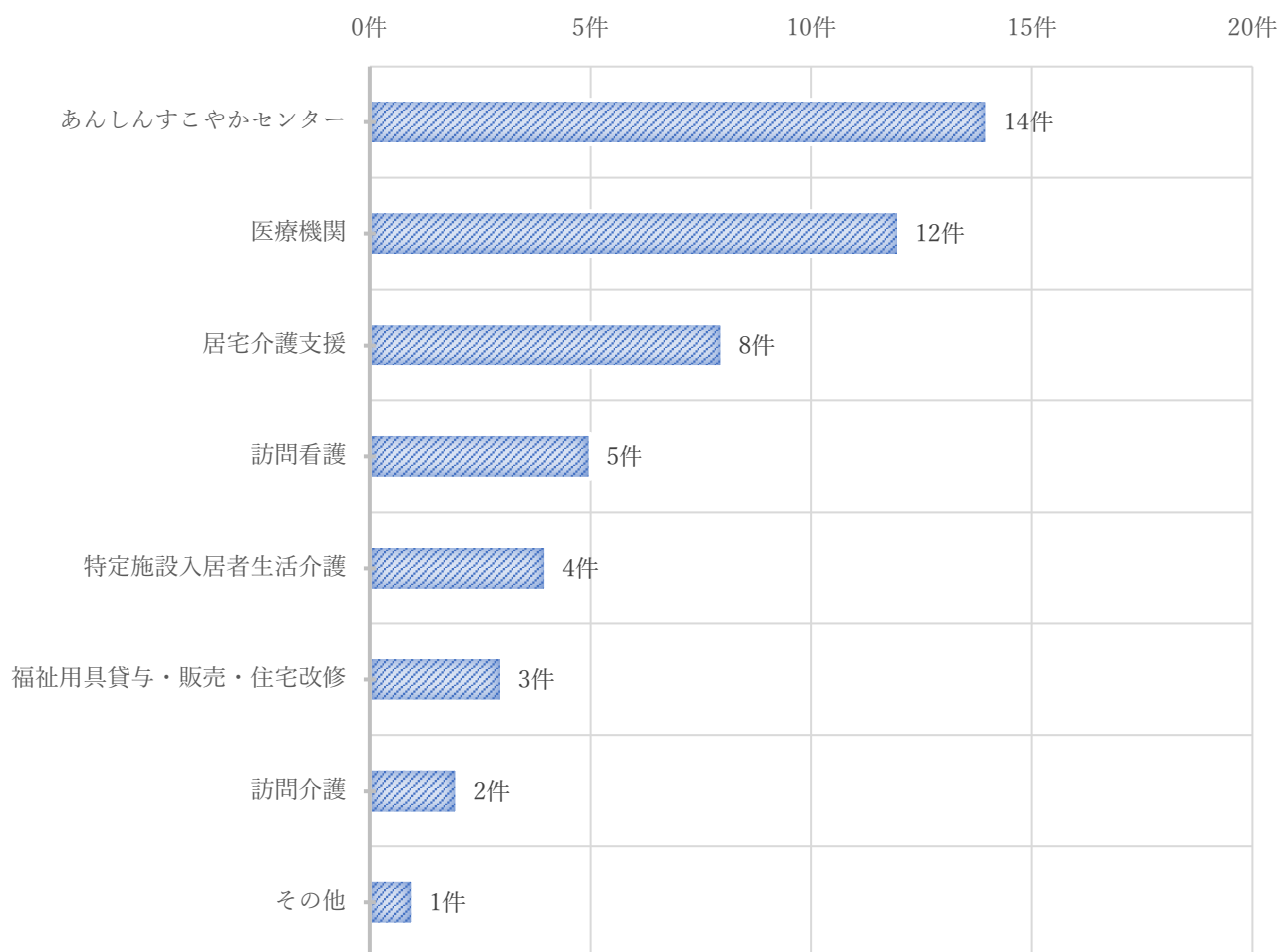
1. 本講座に参加したきっかけ （複数回答可）



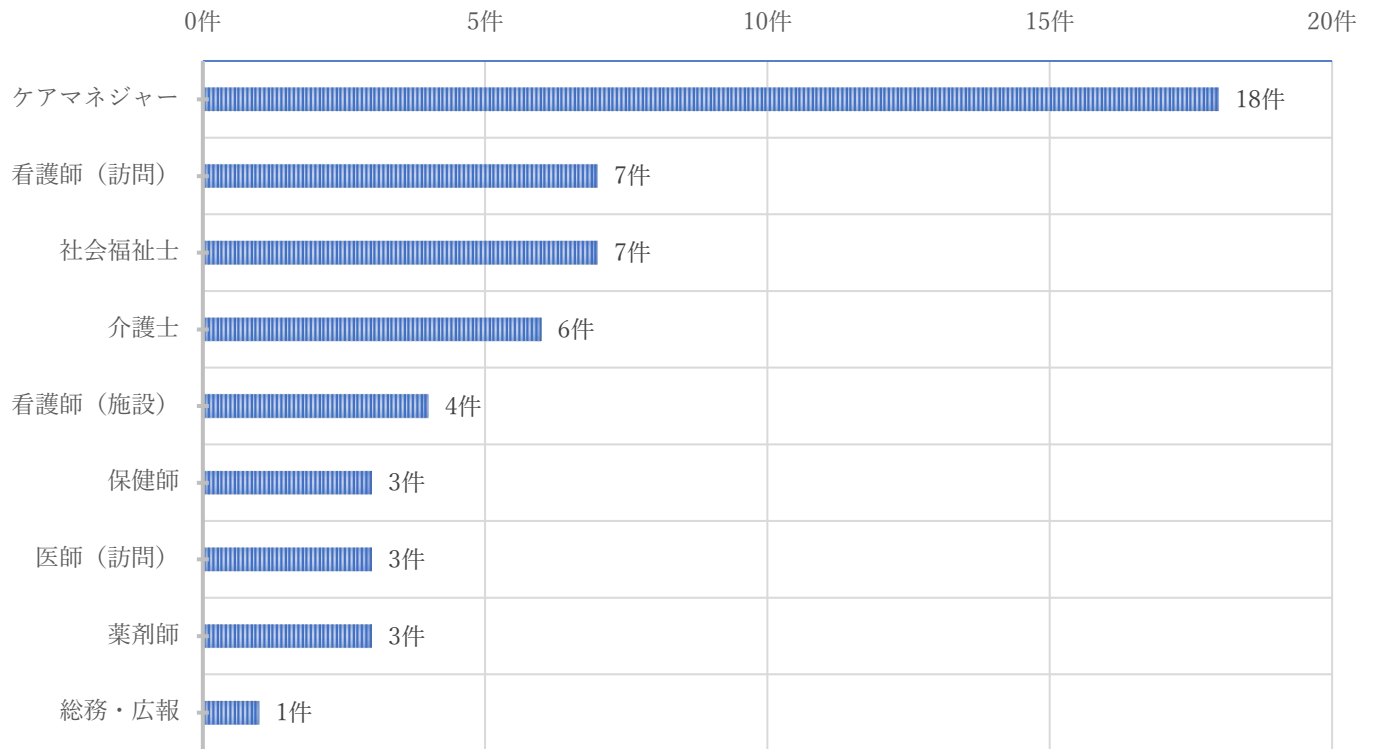
2. 本講座に参加した理由（複数回答可）



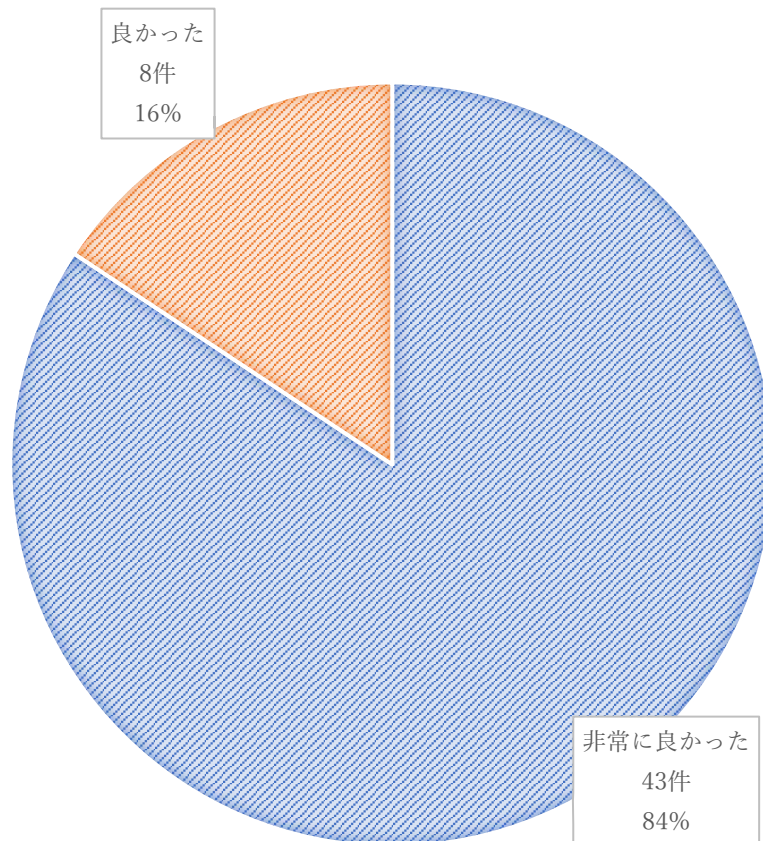
3. 事業所種別



4. 職種（複数回答可）



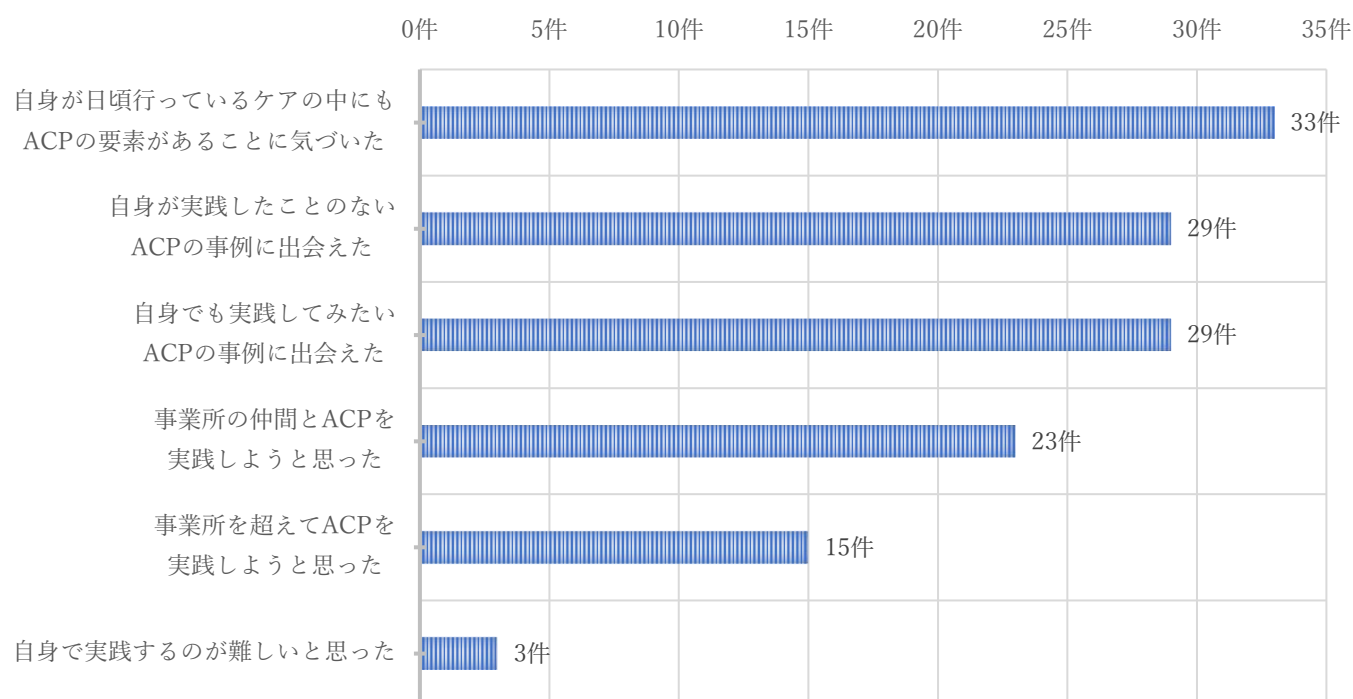
5. 講座全体に関する評価をお聞かせください



5-2. その理由をお聞かせください

ACP についての理解が深まったから	ACP についてまったく知らず、今回知るきっかけとなり、大変勉強になった。重いテーマではあるが、望んだ最後を迎えられるよう、お手伝いできたと思った。
	私は経験が少なく ACP という言葉の意味もわからずで何から始めれば良いかわからなかったが ACP について理解が深まった。
	ACP について理解を深める事ができた。どう選択するのか、話し合いが必要。
	グループ分けされた人数が、多過ぎず少な過ぎず丁度良かったと思う。気負わずに話すことができた。また、色々な職種の方から話が聞けて良かった。
	五味先生のお話について、資料がわかりやすかった。
	講座がわかりやすかった。
	アイスブレイクの内容も凝っていて楽しめた。
	ディスカッションは、さまざまな人の経験談が聞け、とても勉強になった。
	これまで ACP は集まって行う会議のような印象があったが、もっと小さな ACP の形があるのだと見方を変えることができた。
多職種の ACP の事例が学びになったから	まだ経験が浅く様々なことが勉強になった。
	地域の医療職の方々と接し、医療職の方々の考え方を改めて知ることができた。
	普段なかなかお話しできない方達のお話が聞けて勉強になった。
	他の事業所の方のお話を聞いて参考になりました。
	ACP に関して経験談や困っている事を話しやすい環境で意見交換ができて良かった。とても参考になった。
	多様な職種の取組み事例を聴くことができた。
	色々な場面で ACP の実践がなされていること、苦悩を知ることができた。
	様々な職種の方のエピソードを聞く事で ACP に正解がないということがわかった。
	自身の考えるきっかけ、また、他の方のエピソードを聞くことができて、学ぶことができた。
	具体的なアイデアを伺うことができた。
	様々な職種の ACP 事例が聞いたのが良かった。小さなことでもできることはやってみたいと思った。
	他職種の方と話し合えるのはよい機会。
	グループワークで色々な職種の方の意見を聞くことができた。また、会の雰囲気も和やかでとても良かった。
	多職種の方と意見交換が出来たのがよかった。
	後半の話をもっと深めたかった。話をよく聞くことが大事とわかった。今までやってきたことが間違っていないのだと思った。
他事業所との交流ができたから	世田谷区のさまざまな医療者の方の ACP への関心や見識の度合いなどをお伺いでき、普段お話しできない方々との交流の場ともなったため。
	様々な地域の様々な職種の方と意見交換ができる機会が持てたこと。
	普段会わない職種の方と会えた。
	皆さんとガヤガヤ話せたのが良かった。
	もう少しグループワークの時間があるとよかったと思った。
	ざっくばらんに話せた。

6. 講座を通じてACPの実践についてどのように感じましたか（複数回答可）



7. 講座の中で特に印象に残ったことや、新たな発見がありましたらご記入ください

自身が日頃行っているケアの中にもACPの要素がある	最期の医療的な決断を引き出すことではなく、価値観のかけらをつないで積み重ねることが大切だということ。私たちが支援する人と触れ合う時に、その方の価値観のかけらに気づくよう、日頃から意識したいと感じた。
	無意識の中でACPしている事の気づき、ACPは前向きな選択である事。
	日々の関わりがACPに繋がっていること。結果ではなくその過程が大切である。
	自分が普段行っているケアマネジメントがACPの要素を含んでいることを知ることができた。
	普段の何気ない会話からその方の考えのヒントがたくさんあるのだと思った。
	気が付かないうち、意識しない時でもACPに繋がる支援になっていること。
多職種のACPの事例が学биになった	多職種の目線で体験した事例を聞くことが出来た。
	多職種の話し合いは毎回発見があります。
	歯科医師の話～最後に口腔にお金をかけられるのか、等。
	改めて様々な職種の方がチームとなり色々な視点で本人の意思をくみ取ることが重要であると感じた。
	医療や介護の話に多くの時間と視点が集まりがちだが、ご利用者様の生活全般・価値観に関わる事全てにACPの要素が散りばめられていると思った。
他事業所のACPの事例が学биになった	病院のケースが多く、あまり交流のない事が多く勉強になった。
	最後の発表で素敵な事例をたくさん聞いて心が温かくなった。
	沢山の方のお話を伺え勉強になった。
	発表の方の経験談はどれも印象に残った。
	ACPの意見交換と発表から、指輪の話や家族へのメッセージ、入れ歯やエンバーミングなど、人の想いはいろいろで様々な形でACPに取り組めると気づきました。

その他	気持ちが変化する中で実施するのは難しいと思ったが、最初のきっかけがあるからこそ継続的にできるのだと感じた。
	結果が何であれ、望んだ道を進めたら、満身に終われそうというのはすごい良い人生だったのではと納得した。
	意思決定は医療選択ではないという部分は印象に残った。
	プランや死そのものがご本人だけでなく、本人に関わる家族やそれに準ずるものの両サイドにとって必要であるということがわかった。
	話し合いにおいてもその場その場において、主語が誰なのか？を逐一明確にしておくことで、その後の齟齬を防ぐ事が出来るのではないかと思う。
	皆様が真剣に向き合い、悩み、取り組まれているのを感じ、勇気がもらえた。
	事前に家族で話し合っている、いざという時に意向が変わってしまった、とお話しされていた看護師さんのエピソードについて。
	残された家族が悔いのないようにその後の人生を歩いて行くためには、そのような選択肢もあるのだと思った。それも間違いではないと感じた。
	ただ利用者とコミュニケーションを取るのではなく、専門職として意識しながら、一歩先を見ながらコミュニケーションを取ることが必要であると思った。

8. その他、今回の講座のご感想・今後実践してみたいことなどがあれば、ご自由にお書きください。

素敵な機会をありがとうございました。お疲れ様でした。
理解がふわっとした状態でしたが、すごく大事なことだなと思えました。ありがとうございました。
今後は私のご利用者様との信頼関係を築いて、少しずつ ACP の経験を積んでいきたいです。
初めて参加しましたが、たくさんの方が参加されて、たくさんの貴重なお話を聞けて、感謝いたします。このような講習会を開いてくださり、ありがとうございます。世田谷区はすごいなと思いました。
参加できて楽しくもあり、とても学びの多い研修でした。ありがとうございました。
とても楽しかったです。2h あっというまでした。ありがとうございました。
在宅での介護や医療支援を必要としている方と、ホームに入居している方とで、改めてではあるが、大きく環境が異なることを感じました。在宅だと、ご本人のケアを取り巻く環境は必然的に他事業者を跨ぎ、情報の共有や関係性の構築が難儀になる。他方、ホームはいい意味でクローズドなのでその中で完結できる事が大きな違いである。クローズドな環境で勤めているからこそ出来る本人や家族との関係性や日常の接点からの価値観のかけらを集め、ご本人の納得のいく生き方のお手伝いができればと思います。
機会があればまた参加したいです。
初めて参加させて頂きましたが、充実した時間であっという間に終わってしまった印象で、心地良い終わり方でした。次回、参加いたします！
区民向けの ACP の周知がなかなか難しいと感じています。近隣の医院やクリニックにも協力お願いしたいが、アプローチに悩むところです。
ACP ガイドブックを用いて、ご本人に書いてもらう、もしくは自分が聴取したことを少しずつメモしてスタッフに共有したいと思いました。
職場でも共有したいと思いました。